苫小牧市立錦岡小学校学校便り
NISHIKIOKA
第８号
令和８年１０月３０日発行

○思考力を高め 自主的に学習する子
○豊かな情操を身に付け 思いやりのある子
○きまりを守り 最後まで やりぬく子
○ 心身ともに健康な子

実りの秋　子供たちの確かな成長を

錦岡小学校　校長　　河毛　幸至

「実りの秋」を迎えました。木々の果実や田畑の作物だけではなく、子供たちの努力もまた、この季節に確かな実りとして表れています。４月から半年が経ちましたが、授業で積極的に発言する姿、友達と協力して課題に取り組む姿、下級生に優しく話しかける姿など、子供たちの成長を感じる場面が数多く見られるようになりました。

１０月１７日（土）の学習発表会保護者公開、いかがでしたか。子供たちの努力を感じていただけたでしょうか。仲間と協力して一つのものを作り上げる経験は、子供たちにとって大きな学びとなります。思うように進まないことや意見がぶつかることもありますが、それらを乗り越える中で、相手を思いやる心や協力することの大切さを学んでいます。成功した経験だけでなく、失敗や悩みを乗り越えた経験こそが、子供たちを大きく成長させる力になるのだと思います。また、発表した後の称賛は、頑張って取り組んできた実感があるからこそ自己肯定感を高めるものとなります。



【1年生の発表の様子】



【6年生の発表の様子】

体育館に響く大きな声の呼びかけや、ダンスや手話、ボディーパーカッション、器楽、劇、歌と本当に様々な表現で子供たちの頑張りを伝えられたと思っています。１年生も堂々と発表できていましたし、６年生のマツケンサンバは、体育館にいる方に元気と笑顔を届けていたのではないでしょうか。学校は「勉強がわかり、様々なことができるようになり、楽しい場所」でありたいと思っています。発表までの取組が一生懸命なもので、本番の発表が生き生きと楽しんで行うものであることをこれからも目指していきたいと思います。

さて、秋は「読書の秋」とも言われます。苫小牧市では、１１月を「親子読書」強調月間として取組を進めています。読書には、知識を得るだけでなく、豊かな言葉を身に付けたり、想像力を広げたりする力があります。また、物語の登場人物に自分を重ねたり、その気持ちを考えたりすることで、人を思いやる心や豊かな感性も育まれていきます。



特に親子で本を読む時間は、子供たちにとってかけがえのないひとときです。同じ物語を読み、「どんなところがおもしろかった？」「主人公はどんな気持ちだったと思う？」と会話を交わすことで、本の世界はさらに広がります。そして何より、一緒に過ごす時間そのものが、子供たちの安心感や自己肯定感につながっていきます。

忙しい毎日の中で、まとまった時間をつくることは難しいかもしれませんが、短い時間でも構いません。親子で一冊の本を開き、言葉を交わす時間を大切にしていただければと思います。同じ本ではなくても、スマホ等から離れ、それぞれの本を読む時間を設けることも親子の大切な時間になることと思います。子供たちにとって、その積み重ねは心の栄養となり、読書習慣の土台になるかもしれません。

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。学習発表会の際には、朝早くからＰＴＡおやじの会の方に駐車場の整理などをお手伝いしていただきました。大変助かりました。感謝いたします。これからも子供たちの健やかな成長のため、学校・家庭・地域が手を携えながら歩んでまいりたいと考えております。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

参観日のお知らせ

２学期の授業参観を下記の日程で実施します。日頃の学習に取り組む姿や、友達と協力しながら学び合う姿など、子どもたちの成長の様子をぜひご覧ください。また、授業参観後には学級懇談会を予定しております。
お忙しい中とは存じますが、多くの保護者の皆様のご来校をお待ちしております。

【日程】１１月２４日（火）３・４年生
　　１１月２６日（木）１・２年生
　　１１月２７日（金）５・６年生
【時間】授業参観　１３：２０～１４：０５
　　学級懇談　１４：１５～１４：５５



２年生

給食センター見学

２年生が校外学習で第２給食センターを見学しました。普段食べている給食がどのように作られているのか、実際の調理の様子を見ながら学びました。たくさんの給食が作られる様子を通して、給食づくりに携わる方々の工夫や苦労を知る貴重な機会となりました。毎日の給食を支えてくださる方々への感謝の気持ちを深めることができました。



３年生

こころの授業

３年生は、ウトナイ湖野生鳥獣保護センターの獣医師を講師にお招きし、「こころの授業」を行いました。授業では、野生動物の保護や救護活動についてお話を聞き、動物たちの命を守るための取組について学びました。子どもたちにとって、身近な自然や生き物への関心を深めるとともに、「命の尊さ」について考える貴重な機会となりました。



４年生

ウポポイ見学

４年生が校外学習でウポポイ（民族共生象徴空間）を訪れました。アイヌ民族の歴史や文化、伝統的な暮らしについて学び、北海道の豊かな文化への理解を深めました。

今回の見学を通して、アイヌ文化の魅力に触れるとともに、異なる文化や価値観を尊重することの大切さを考える貴重な機会となりました。



１１月 行事予定

３日	火	文化の日
４日	水	修学旅行（６年）１日目 教材費引落し(予備)
５日	木	ＡＬＴ（４・５年） 修学旅行（６年）２日目
６日	金	回復休業（６年） スクールカウンセラー来校日
９日	月	６時間授業 読み聞かせ（１年） スケート学習❷（２・４・６年）
１０日	火	ALT（５・６年） 居住地交流（６年１組） もも花幼稚園との交流（１年）
１１日	水	ALT（午前のみ） 美術博物館学習（４年１・２組） 代表専門委員会② 特別支援学校交流（５年１組）
１２日	木	美術博物館学習（４年３組） 特別支援学校交流（５年２組）
１３日	金	ＡＬＴ（５・６年） 特別支援学校交流（５年３組）
１６日	月	読み聞かせイベント（１～２年生）
１７日	火	日課変更　５時間授業（水曜日課） ＡＬＴ（５・６年）
１８日	水	日課変更　６時間授業（火曜日課） ＡＬＴ（３・４年）
１９日	木	ＡＬＴ（５・６年） 読み聞かせイベント（３～６年）
２０日	金	スケート学習❸（１・３・５年）
２３日	月	勤労感謝の日
２４日	火	参観日（３・４年） うちガクチャレンジ週間～11/30
２６日	木	ＡＬＴ（５・６年） 参観日（１・２年）
２７日	金	５時間授業（４～６年） 参観日（５・６年）

「うちガクチャレンジ週間」で家庭学習の習慣づくりを！

本校では、子どもたちの家庭学習の習慣を確立し、基礎学力の定着を図るため、「うちガクチャレンジ週間」に取り組んでいます。これまでの取組では、家庭での学習時間が少しずつ増加するとともに、自分の苦手な学習に進んで挑戦したり、学習内容を工夫したりするなど、子どもたちの成長が見られています。大切なのは、学習時間を増やすことだけでなく、自分で考え、計画的に学習する習慣を身に付けることです。１１月２４日（火）から３０日（月）まで、今年度２回目の「うちガクチャレンジ週間」を実施します。子どもたちがさらに一歩成長できるよう、ご家庭でも励ましの声かけをお願いいたします。